

平成 26 年度
優秀賞

南九州畜産興業株式会社

会社概要

南九州畜産興業株式会社は豚・牛食肉の製造販売・ハム加工品製造販売を営む大規模な産地食肉処理販売会社である。1964年10月に操業を開始し、創業50年を迎える。年間250日（概ね9時間/日）稼働しており、従業員数は約700名である。本社以外に農場、加工工場、営業所、他グループ関連企業10数社がある。

削減実績

CO2 排出量削減率 11%達成（平成 22 年度比）

※電力排出係数の悪化の影響に配慮し、電力排出係数を基準年度（平成 22 年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成 23 年度～平成 25 年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全従業員による削減活動の実施

2003年から省エネルギー管理委員会を毎月1回継続して開催している。当委員会では、月毎のエネルギー使用量等の報告や新たな省エネ対策の提案が行われ、開催内容は全従業員に伝達されている。新たな省エネ対策の提案のため、毎月2,3名のグループで省エネパトロールを実施し、改善できる箇所を検討し、提案を行っている。また、効果のあった省エネ対策について、現場向けの説明会を開催するなど関連会社にも省エネ指導を実施している。

重油から液化天然ガス(LNG)への燃料転換

ボイラ燃料について、LNGサテライトを設置して、重油からCO2排出量の少ない液化天然ガス(LNG)に燃料転換し、ボイラ自体もLNG高効率ボイラに更新した。(H26.1稼働)CO2排出量約1,000トン/年削減、コスト削減にも繋がる見込みである。月あたりでは、燃料使用量全体の約10%の削減を達成している。さらに、ボイラ更新時に、設置数を3箇所から1箇所に集約したことで、電力を約50,000kWh/年削減した。

インバータ制御の導入

空気圧縮機及び給水ポンプのインバータ化により、電気使用量の削減に繋がった。

営業車のエコドライブ推進

営業車について、車の燃費原単位を営業所ごとに毎月作成し、省エネルギー委員会に報告してエコドライブに努めている。

今後は、照明のLED化や温排水の回収・再利用(25万kWh/年削減見込み)を実施予定である。



空気圧縮機のインバータ化



LNG 高効率ボイラ



LNG サテライト